

## 2019年「世界中医薬学会連合会第十六回世界中医薬大会」



開催月 : 2019年11月7日～10日

開催場所 : ハンガリー ブタペスト

参加国 : 世界30数ヶ国

人数 : 約800名 専門家、辰巳 洋会長出席

今回の大会は世界三十数か国、八百余りの地域から専門家が参加しました。世界中医薬学会連合会の桑濱生副出席兼秘書長と中東欧中医薬学会王偉迪執行会長が開幕式の司会を務めました。ハンガリー政府の要人が次々と紹介され、挨拶の言葉を述べました。

世界中医薬学会連合会の馬建中主席は「今、中医薬は183の国家と地域に伝播され、中国政府は40余りの外国政府と地域の関係部門と協力協定を結んでいます。また、WHOの発表により、現在103の会員国は鍼灸の使用を認め、その内18の国は国の医療保険が適用されています」と世界における中医学の実情を述べました。

開幕式後に主会場と分科会場で専門家の論文発表、臨床経験の交流などを行いました。私も外国でどのように中医学を広めるか、薬膳からスタートした本草薬膳学院の教育状況を発表しました。参加者は興味深く耳を傾けてくださり、薬膳の教育をハンガリーでもやってほしいというお話もありました。